

平成31年第1回大石田町議会臨時会会議録

平成31年1月21日(月)、大石田町議会臨時会が大石田町議場において招集された。

1. 議長(村岡藤弥君) 午前10時00分 開会を宣す。

出席議員は次のとおり。

1番 岡崎英和 君	4番 関 幸悦 君	7番 遠藤宏司 君
2番 村形昌一 君	5番 村岡藤弥 君	8番 斎藤公一 君
3番 小玉 勇 君	6番 大山二郎 君	9番 芳賀 清 君
		10番 星川 久 君

地方自治法第121条の規定により、説明のため議会に出席した者の職氏名。

町 長	庄司喜與太君	保健福祉課長	高橋慎一君
副町長	横山利一君	産業振興課長	
教育長	布川 元君	(兼)農業委員会事務局長	井苺清隆君
総務課長	二藤部康暢君	建設課長	遠藤秀樹君
まちづくり推進課長	間宮 実君	教育文化課長	荒井義孝君
町民税務課長			
(兼)会計管理者	早坂勝弘君	総務課総務主幹	八 鍬 誠君

本会議に、職務のため出席した者の職氏名。

議会事務局長	鈴木 太
議会事務局議会主査	森 光弥

提出議案目録

議案第 1号 平成30年度大石田町一般会計補正予算(第7回)

議 事 の 経 過

1. 議長(村岡藤弥君)

おはようございます。

ただ今から、平成31年第1回大石田町議会臨時会を開会いたします。

出席議員数も定足数に達しておりますので、ただちに本日の会議を開きます。本日の会議は、議事日程第1号によって進めてまいります。

日程第1. 会議録署名議員の指名を行います。会議録署名議員は、大石田町議会会議規則第125条の規定により、

6番 大 山 二 郎 君、

7番 遠 藤 宏 司 君を指名します。

次に、日程第2. 会期の決定を議題といたします。会期につきましては、議会運営委員会を開催していただき協議を願っておりますので、その結果につきましては議会運営委員会委員長より報告を求めます。議会運営委員会委員長 星 川 久 君。

1. 議会運営委員会委員長(星川久君)

議会運営委員会の結果について報告いたします。

去る1月15日告示、本日招集されました平成31年第1回大石田町議会臨時会の会期・議事運営等について、本日午前9時30分から議会運営委員会を開き、提出される案件等を考慮し慎重に協議した結果、本臨時会は皆さんのお手元に配付している会期議事日程のとおりであります。

すなわち、本臨時会は本日1日限りの会期とし、その内容についてご説明申し上げ、皆さんのご賛同をいただきたいと存じます。

はじめに、ただ今報告している会期の決定をしていただきます。

次に、本臨時会に提出されている議案1件を上程して、提出議案について町長の提案理由の説明及び担当課長の補足説明をしていただきます。

補足説明終了後、本会議を休憩していただき議場において全員協議会を開催し、本臨時会の議案説明をお願いしたい考えであります。

全員協議会終了後、ただちに本会議を再開し、議案の審議をお願いし、終結後、本臨時会を閉会する考えであります。

なにとぞ、本委員会の決定どおり、皆さんのご賛同とご協力をいただき会議を進めて下さるようお願い申し上げます、委員会の報告といたします。

平成31年1月21日 大石田町議会運営委員会委員長 星 川 久。

1. 議長(村岡藤弥君)

ただ今、議会運営委員会委員長より報告のとおり、本臨時会の会期は、本日1日限りとすることにご異議ありませんか。(議員:「なし。」)ご異議なしと認めます。したがって、会期は本日限りとすることに決定いたしました。

次に、日程第3. 議案第1号1件を議題として上程いたします。

日程第4. 町長より上程議案について提案理由の説明を求めます。大石田町長 庄 司 喜 與 太 君。

1. 町長(庄司喜與太君)

おはようございます。

本日、第1回町議会臨時会を招集いたしましたところ、議員各位におかれましては寒中にもかかわらずご出席をいただき、心から感謝を申し上げますとともに、日頃より町政各般にわたって特段

のご指導、ご協力を賜っておりますことに、深く感謝を申し上げます。

さて、ただ今上程になりました議案の概要についてご説明を申し上げます。

議案第1号「平成30年度大石田町一般会計補正予算(第7回)」についてであります。

既決の予算に歳入歳出それぞれ2億7,610万円を追加して、予算総額55億7,977万4,000円とするものであります。

以上、今臨時会に提出いたしました議案の概要についてご説明申し上げます。なお、詳細については担当課長から説明させますので、よろしくお願い申し上げます。

1. 議長(村岡藤弥君)

続いて、担当課長より補足説明を求めます。総務課長 二藤部康暢君。

1. 総務課長(二藤部康暢君)

議案第1号について補足説明をさせていただきます。補正予算書の表紙をおめくり下さい。

平成30年度大石田町一般会計補正予算(第7回)であります。今、町長からありましたように、予算の総額に2億7,610万円を追加いたしまして、55億7,977万4,000円とするものでございます。

補正の主な内容でございますが、1件ですのでちょっと一番最後のページをお開き下さい。歳出の1ページ、2ページになります。大きく2款・8款・11款の3つに分かれております。

最初に2款の総務費でございますが、最初に通信運搬費97万円でございます。通信運搬費については、町全体を総務課の予算の中で賄っておるのでございますが、当初580万予算化させていただいたところでありまして、ひと月で100万を超える月が二度ほどあったり、ふるさと納税の便りとか謝礼とかそういうふうなお便りであったり、非常に多くございました。それで、今回97万円の補正をさせていただくものであります。

それから今申し上げました、ふるさと納税が非常に好評だったということで寄附額を1億円増額して、合計4億5,000万というふうに見積もっております。その増額に1億円の増額に伴いまして、積立金をそのまま1億円積立てるもの。それから返礼品等の経費として6,000万円。それからその寄附の媒体となります、いわゆるふるさとチョイスとかふるナビとか、それからクレジットの決済の手数料として900万円を上げさせていただいたものであります。

それから8款について、ちょっと中段の四角枠をご覧いただきたいのですが、今般の道路の除排雪委託料として5,050万円を計上させていただいたところであります。

それから下段の11款であります。災害復旧費について8月の集中豪雨により発生いたしました道路と河川の災害につきまして、復旧工事費の積算がまとまりましたので、道路と河川合わせて5,530万円の補正をお願いするものであります。

歳入につきましては災害対応の国庫負担金や起債、それからふるさと納税関係では基金からの繰入金や交付税で賄っております。

それから、今年度予定しております役場から大石田小学校までの役場小学校線の道路改良工事と、先ほどの災害復旧工事について来年度に繰越させていただきたいということの併せた提案でございます。以上、よろしくお願いいたします。

1. 議長(村岡藤弥君)

以上をもって、上程議案について町長の提案理由の説明及び担当課長の補足説明を終わります。

暫時休憩いたします。

休憩 午前 10 時 09 分
(全員協議会【於:議場 午前10時12分～午前11時27分】)
再開 午前 11 時 35 分

1. 議長(村岡藤弥君)

再開いたします。

議案の審議を行います。

日程第5. 議案第1号を議題といたします。ご質疑のある方の発言を許します。3番 小玉勇君。

1. 3番(小玉勇君)

では、歳出の2ページ、先ほどから話になってました雪下ろしの有償ボランティアについて話聞きたいと思います。課長の話によればですね、結局その要援護者に対してこう手当をしなきゃいけないというので、有償ボランティアてよくよく考えてみれば安くやるっていう意味ですよ。簡単にいうとね。そうするとあの、先日、実はあのある人と話しててね、僕らそのスノーバスターズって雪下ろしするわけじゃないけども、窓の雪かきなんかしてるわけだけどもね、そういうのも結局その老人とか経済的に困ってる人なんかを中心にやってるんだっていう話をしたらね、一般の人でもね、ほとんど雪下ろしにその金払えるってなかなか大変なんだよっていう話なわけよ。そんなこと言ってるらんない、簡単に言えば、みんな大石田町全体やっていかなきゃいけないんじゃないかぐらいのこの意識がないとできなんじゃないかって気がするんですよ。今回そのこの有償ボランティアっていうのは、課長が言うにはそのボランティアっていう意味どういうこと言ってるのかわからないんだけど、金額的な差をつけるっていう意味なんだが、それともその差がついた分をどっかがペイするんだか、そういうことをちょっと、そのへんのところの考え方を教えて下さい。町長でもいいですけども、お願いします。

1. 議長(村岡藤弥君)

町長 庄司喜與太君。

1. 町長(庄司喜與太君)

まちづくり推進課長に答弁させます。

1. 議長(村岡藤弥君)

まちづくり推進課長 間宮実君。

1. まちづくり推進課長(間宮実君)

今回の県のこのモデル事業の中での有償ボランティアの位置づけなんですけれども、営利企業による迅速の対応が困難な場合、市町村が認める場合などボランティア活動に意思を持つものということですね、そういう漠然としたものなんですけれども、要は現在やられている業者さんたちがなかなかその手が回らないという場合に手助けをするボランティア団体だというような位置づけをしています。そのボランティア団体をどういうふうな形で、あるいはどういった料金とするかというのはそれは市町村の考え方ですので、今回、先ほどご説明したようにですね、現在その担っていたいでいる方々からお集まりをいただいて、どんな仕組みが一番いいんだろうかとそういうことを考

えていくということで、料金設定もですね、低くしちゃダメだという話になるかもしれませんし、我々と同等のものにしてほしいとか、そういうことになる場合だってあるだろうというふうに考えてます。

1. 議長(村岡藤弥君)

3番 小玉 勇 君。

1. 3番(小玉勇君)

先ほど全協(全員協議会)の中で遠藤議員も言っていましたけども、やっぱり本当のその実動隊っていうかね、すぐそういう団体ができるかどうか別問題にしても、これからやっぱり、でも先ほど課長の説明にするとね、ちゃんとした業者さんができない場合ってなるけど、そうずっとそのできない、たとえばその下に業者さんっていうのはある程度ちゃんとした整備とかもって、ヘルメットはきちっとしてね、それで練習とか常日頃働いているんだろうけども、それ以外となれば簡単に言えば二軍みたいなもんですよね。ちょっとある程度慣れてない人も出てくるだろうと思うんだけど、そのへんのところ、結構結局その危険はやっぱり同じだろうと思うし、だけど危険をんでも考えながらもやらざるを得ないっていうのがこういう制度をつくらざるを得ない状態なんだろうと思うんです。で、先ほどその遠藤君言ってるように、やっぱり話だけで終わらないで、ぜひ今年、来年でもかかってもいいですけども、その意思のあるものだってなかなかそんなやってくれる人いませんかだけじゃできないんだと思うし、そのへんのところ少しある程度その町の共通の本当の課題としてね、本気でやってもらわないと。今回1年間の補助だけで終わりましたではやっぱり本当に困ると思うんです。これから。そのへんのところをそのぜひあの町長の考えを聞きたいと思います。

1. 議長(村岡藤弥君)

町長 庄 司 喜 興 太 君。

1. 町長(庄司喜興太君)

私も先日うちの店の雪下ろしをしました。その折にも昔からやっぱりやってる人たちにお問い合わせしかないという形の中で、一応「どうしますか」ってゆったときに、「はい。やって下さい。」という、その人たちのメンバー見ると、やっぱり70代前後ぐらいの人たちが本当に一生懸命やってくれますし、また昨日、私も屋根に上がったら向かえには岡崎議員の部隊が6, 7人上がってました。その雪下ろししてる人たちを見てみますと、うちに来るよりも若いメンバーよくそろえたなというぐらい、それでも60代ぐらいの前後ぐらいだったんですけども、それぐらいに雪下ろしを頼むっていうことは本当に難しいことである。特に、高齢者しか付き合いない人たちは本当に大変だろうなというようなことを思ってます。そういうことを考えてみますと、この制度をいろんな人たちから、雪下ろしをやってる人たちそしていろんな人からご意見を聞きながら、大石田町はこういう形の中の雪下ろしの対象をやってるっていうことを、やっぱり早急にしなければならないなと思っております。以上です。

1. 議長(村岡藤弥君)

他にありませんか。2番 村 形 昌 一 君。

1. 2番(村形昌一君)

歳出。2款1項6目12節役務費900万の増で合計で2, 215万円というふうになってるそうです。ふるさと納税は今、大分加熱してましてポータル間の競争とかもあって、Amazon(アマゾン)ギフトとかっていう話になっていったと思うんですが、一方でこの手数料は、どんどん増えれば増えるほど私はいいと思います。ただ、そのふるさと納税のポータルサイトに払う手数料というのは5%から10%ぐらいありまして、その分あのピンハネされてというようなことになるわけで、今の多くの納税をいただいている自治体がやってることは、なるべく直接寄附をいただくような仕組みづくりだそうで

す。当町もですね、やっぱりそうしたなるべくこうしたポータルを介さない、毎年寄附いただいている方なんかはいらっしゃるわけですから、そういった取り組みをしていく必要があると思います。たとえば、町のホームページから今ですとそのポータルへ誘導とかするんじゃなく、直接寄附をしていただくような仕組みづくりというのが必要だと思いますが、そのへんの考え方がでしょうか。

1. 議長(村岡藤弥君)

町長 庄 司 喜 與 太 君。

1. 町長(庄司喜與太君)

その町のホームページから云々という、これ非常に難しいというようなこともありまして、何年前からそういうことにしてよろしいでしょうかという議会の了解も得た形の中でやった、ふるさと納税をそういう形でやったわけなんですけども、それ以来、いろんなまちづくり推進課の担当者が本当に一生懸命やったお陰で、ある程度の県内のちょうど真ん中ぐらいに納税額がなったということなものですから、じゃ、町のホームページにまた切り替えるってゆった場合に、非常にこの難しさもありますし、今後ともそれは検討しながらやっていかなければならない問題で、早急にはいじゃ、町のホームページにすぐ切り替えていうことも、町のホームページだけをやるっていうことも非常に難しいこと。だからいろんな県内町村、そしてまた全国の自治体町村の進むべき方向を検討しながら、やらなければならないんじゃないのかなと思っております。

1. 議長(村岡藤弥君)

2番 村 形 昌 一 君。

1. 2番(村形昌一君)

いろいろ利便性があつてここまで納税額も増えてきたのは、こういったポータル経由がやはり利便だからだと思います。ただあの聞いてみますと、数件このポータルサイトを介さない寄附もあるということですので、世の中の流れはそういった件数を増やしていくというような流れになっていくわけですから、ぜひ当町でもですね、来年は数十件、数百件ぐらい集まりましたというような、言えるような制度づくり頑張つてやっていただければと思います。よろしくお願いします。

1. 議長(村岡藤弥君)

他にありませんか。7番 遠 藤 宏 司 君。

1. 7番(遠藤宏司君)

歳出の1、2ページで、先ほど小玉議員からもありましたけども、2款の中の8節報償費で雪下ろし有償ボランティア制度検討会議と、それから13節の委託ですね、制度検討、雪下ろしの制度検討委託料。あの小玉議員も言われたとおりでと思うんですけども、要するにあのその雪下ろしにあたる側の高齢化。それから下ろしてもら側も高齢化する。ただこの制度は要援護者を中心にしたっていう、いわゆる収入の少ない方を視野に入れた制度の検討のようですけども、小玉議員も言われたように、もっと全体の町民全体にかかわっての下ろす側、下ろしてもら側、実態を踏まえて、実効性のあるこの豪雪地でも暮らしていけるような実効性のあるものとして考えていただきたいと、検討していただきたいと。その点について町長の考えをお伺いしたいと思います。

それがらもう一つはあのこれもまだ雪に関するんですけども、先ほどあの消防署の設計の説明いただいたんですけども、説明では屋根が平らな屋根の建物なるという説明ですけども、過去に平らな屋根で雪のこれまだ雪の問題で大変苦勞しているのが元の旧田沢小学校、それがら元の旧駒籠小学校ですね。鉄筋コンクリートでその無落雪だから、あの相当津追ってもいいんだという話ですけども、これもまだあの雪どの関連ですにゃ、屋根の形状検討する必要があるんじゃないがっていうふうに思うんです。予算書に金額はないんですけども、そんなこと説明あつ

たもんですからお伺いします。

それがらもう一点、これまだちょっと予算書にないんですけども、教育委員会です、去年の年末の事故での怪我された方、それからショック受けられた方の診断書取っていただかないと、後々後遺症が出た場合、いわゆるそういう公務的な災害なのかどうかあとで証明できなくなるので、何にもなければ診断書いただいて何もなければそれまだ結構なんですけれども、何らかの事態も想定しておく必要あると思うので診断書をもらう、そうすつど予算が必要になってくると思うんです。このへん検討されてもらわないとやっぱり子どもたちも安全は守れないと思うので、答弁をお願いします。

1. 議長(村岡藤弥君)

町長 庄 司 喜 興 太 君。

1. 町長(庄司喜興太君)

最初の質問なんですけども、そういう形を踏まえた上で、これから検討委員会をつくらなければならぬのではなかろうかな。どういうメンバーを集めるかどうかは、今度いろんなことを研究しながらメンバーを集めて検討させていただきます。

2番の平屋根云々に関しては議案でないもんですから、答弁は控えさせていただきます。

1. 議長(村岡藤弥君)

教育長 布 川 元 君。

1. 教育長(布川元君)

今の件につきましては、運行業者の入っている保険会社のほうですべて対応しておりますので、そちらのほうで控えてるのではないかというふうに思います。

1. 議長(村岡藤弥君)

他にありませんか。ないようでありますので、これをもって質疑を終結いたします。

次に、討論のある方の発言を許します。ありませんか。(議員:「なし。」)討論もないようでありますので、これをもって討論を終結いたします。

これより、議案第1号を採決いたします。採決は起立により行います。お諮りいたします。議案第1号は原案のとおり決するに賛成の諸君の起立を求めます。全員起立であります。

よって、議案第1号「平成30年度大石田町一般会計補正予算(第7回)」は、原案のとおり可決されました。

以上をもって、平成31年第1回大石田町議会臨時会の全日程を終了いたしました。町長より発言を求められておりますので、これを許します。大石田町長 庄 司 喜 興 太 君。

1. 町長(庄司喜興太君)

本日の第1回町議会臨時会にあたり、一言御礼を申し上げます。

議員各位におかれましては急きょご参集いただき、そして慎重審議のうえ提案いたしました案件を原案どおりご可決いただきまして、誠にありがとうございました。

今年の冬は今のところ過ごしやすい天候となっておりますが、これからが最も降雪がある時期となりますので、気を緩めることなく町民生活の安全の確保に向けて、万全を期してまいりたいと考えております。

議員各位におかれましても、変わらぬご指導を賜りますようお願い申し上げます。

本日は大変ありがとうございました。

1. 議長(村岡藤弥君)

これをもって、平成31年第1回大石田町議会臨時会を閉会いたします。

ご苦労様でした。

閉会 午前 11 時 50 分